

新たな文化的施設を考える 高校生ワークショップ

「新たな文化的施設の使い方を考えよう」



開催内容

これまでの町民ワークショップに加え、幅広い世代に意見を頂くため、令和4年8月19日（金）に高校生ワークショップを開催し、県立茨城東高等学校から、総勢21名の生徒にご参加いただきました。

ワークショップのテーマをもとに、より魅力的な施設とするには何が必要か、また、高校生の皆さんにとって日常的に使いたくなる施設とするためにはどうしたらよいか、4グループに分かれて話し合いを行いました。発表の中では、ホールで音楽や映像イベントの開催、屋外で飲食イベントの開催、みんなで学習できるスペースなどの意見がありました。また一方で、ゲームをする場やインターネット環境の整備など「ひとりでくつろげる場」も必要であるなど、イマドキの感性を持つ高校生ならではの意見が多くありました。今後は頂いた意見を参考に施設整備を進めてまいります。

各チームが考えた新施設の使い方、高校生が日常的に訪れる施設とするためのアイデア

たこ焼きチーム



- ・音楽イベントや映像イベント
- ・コスプレやアニメなどのイベント
- ・カラオケなどができる防音室
- ・猫カフェ、動物とのふれあい
- ・電源やソファがあるフリースペース
- ・みんなで勉強会
- ・食に関するイベントができる広場



りんご飴チーム



- ・季節に合わせたパーティや発表会
- ・スマホやYouTube、e-sportsに関する教室
- ・昔の遊び、今の遊び
- ・みんなでくつろげる空間
- ・屋外でスポーツができる場所

わたがしチーム



- ・e-sportsなどの大会
- ・書道、将棋、料理などの教室
- ・仮眠やストレス発散ができる場所
- ・ゲームなどの娯楽やインターネット環境の整備
- ・屋外には公園や、運動できる場所



金魚すくいチーム



- ・映画鑑賞、音楽鑑賞
- ・e-sportsやカードゲームのイベント
- ・一人になれる場所（読書やカラオケ）
- ・友達とボードゲームやTVゲーム
- ・みんなで勉強できるスペース
- ・屋外でスポーツなどのイベント
- ・子どもが遊べる遊具、すべり台など

新たな文化的施設の概要について、茨城町のホームページに掲載しています。
詳しくは、右の二次元コードよりご確認ください。

